

渇水による応急対策のためのポンプの導入等を支援します ～日南町渇水対策等緊急事業～

令和7年6月中旬から鳥取県全域に発生した渇水において、生産者等の農業用水確保にかかる応急的な対策の実施に対し、支援を行います。

実施主体・補助率等

- 事業主体
 - ①2者以上で共同利用する農業者、農業を営む法人、任意組織
 - ②その他町長が認める農業者等
- 補助率：4/5

事業実施の希望がございましたら10月10日までに下記連絡先までご連絡ください。【問合せ】役場 農林課 82-1114

補助対象経費

- ①ポンプ及びホース等付属品の購入費
 - ②ポンプの借り上げ料
 - ③ポンプの燃料費
 - ④その他用水確保に資する応急対策に要した経費
- ※注意：7月15日から9月30日の間に実施した渇水応急対策に要した上記経費が対象

環境省が「2100年の未来天気予報」を公表しました。これは、気候変動によって日本でもどのような影響が考えられるかを分野ごとに示したものです。今後さらに詳しく検討されていく予定ですが、今回はその一部をご紹介します。

農業では、コメの総生産量は増える一方で、品質低下のリスクが高まると予測され、少雨が続くことで渇水のリスクが増えること見込まれています。自然災害の面では、梅雨後期の降雨量や強い雨の頻度が増え、洪水の危険性が高まり、山間部では土石流などの危険度が増すと想定されています。

また、健康への影響も深刻で、暑さによる熱中症などの死亡リスクは、今世紀末には現在の約2～4倍に増えると予想されています。こうした予測の一部を見ても、すでにその兆しを感じているという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。温室効果ガスの削減やCO₂吸収の取り組みを進めることが、未来の暮らしを守ることに繋がります。私たち一人ひとりが行動し、次の世代によりよい環境を引き継いでいきたいと思います。

日南町長 中村英明



編集後記

撮影に伺ったこの日、實延さんは地元の食堂「ホームランド多里」のお手伝い中でした。忙しい時間でもあり、額に汗しながらも朗らかに笑う姿に、温かい気持ちになりました。

いろいろな活動しながら目指しているのは、多里地域の観光案内人とのこと。右の写真は、9月13日に多里で行われた撮影講座の際に講師の豊哲也さんが撮影されたもの。

まち未来創造課 広報担当者



人の動き（敬称略）

ご結婚おめでとうございます

氏名	住所
高木 康平 (細野) 愛	中石見 中石見

ご誕生おめでとうございます

氏名	届出人	住所
増田 陽茉莉 (ひまり)	有司	神 福

お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	住所
石亀 美知恵	83歳	湯 河
伊田 健一	73歳	三 吉
秋末 吉子	98歳	霞
山浦 久子	90歳	笠 木
吉原 重子	95歳	新 屋
西村 菊江	90歳	折 渡
安達 八重子	96歳	上石見

(令和7年8月11日～令和7年9月10日受付分)

■世帯 1,816(+6)	■人口 3,796(±0)
■男 1,808(±0)	■女 1,988(±0)

■自然動態	■社会動態
出生 0(－1)	転入等 10(+6)
死亡 4(－1)	転出等 6(+2)

外国人を含めた世帯数と人口を掲載しています。
令和7年8月末日現在

可燃ごみ減量チャレンジ

R7.7月の可燃ごみ量は、
1人1日あたり、**484g**でした！

❖ 目標値以下！イイ調子！❖

上半期(4～9月)の目標値は1人1日あたり516g以下です。

